

「APEC 女性リーダーズネットワーク 1996-2010 年」

アンドリーナ・リーバ(カナダ)
WLN 共同創設者・元共同議長

APEC 女性リーダーズネットワークは、アジア太平洋経済協力とその加盟国・地域が策定し実施する政策に有益な影響を与え、前向きに参画しようとする様々なセクターからの女性グループによって、1996 年にフィリピン共和国のマニラで創設されました。本日のプレゼンテーションでは、WLN の背景と今後の方向性に対するアイディアを提示したいと思います。WLN の当初の目的は、APEC での意思決定や政策決定に女性の懸念や強い希望が反映され、女性の関与が確保されるための方策を模索し、戦略を構築するというものでした。WLN は、開催国の招聘に応じて毎年参集し、提言を行っており、2 回の女性問題担当大臣会合の開催、男女共同参画担当者ネットワーク(GFPN)の創設、零細企業サブ作業部会の設置、国際貿易ネットワーク、若い女性向けの技術訓練、APEC の先住民女性によるユニークな貢献などの成果を生んでいます。WLN は民間セクター、公的セクター、テクノロジー部門、NGO、学界、先住民女性を代表する女性リーダーによって構成されており、各人が独自の見解を持ち寄ります。WLN は毎年、その年の開催国が定めた優先事項と政策に関する提言を発表するよう、開催国の大臣に求められます。1996 年以降、5 千人を超える女性が WLN の行事に参加しており、APEC の活動に女性が参加する機会を増加させ、APEC に対する女性の理解を深めることになりました。本日の私のプレゼンテーションでは、会議の基本的な論点と、WLN の将来的役割とパートナーについての論点を提示致します。